Creative Enzymes®

エビ由来アルカリフォスファターゼ、組換え

Cat. No. NATE-0807

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼとして同義語として使用されることもあります。エビアルカリフォスファターゼは熱に不安定な加水分解酵素です。これは、組換え源から精製された高い特異的活性を持つアルカリフォスファターゼです。酵素活性のための2つの好ましい部位があります：5'突出、劣位および鈍い5'末端です。酵素は65°Cで15分間不可逆的に熱不活性化されます。
用途	アルカリフォスファターゼは、高脂肪食によって引き起こされる代謝症候群の予防におけるその役割を調べるために使用されました。また、乳製品に使用される牛乳の殺菌プロセスにも使用される可能性があります。
別名	アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3.1.3.1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスフォモノエステラーゼ

製品情報

種	エビ
由来	プロプライエタリホスト
形態	25 mM Tris-HCl、pH 7.5、1 mM MgCl2を含む50%グリセロールの溶液
EC番号	EC 3.1.3.1
CAS登録番号	9001-78-9
濃度	>1,000 DEA 単位/ml
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 9.8の条件下で1分あたり1μmoleの4-ニトロフェニルリン酸を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください